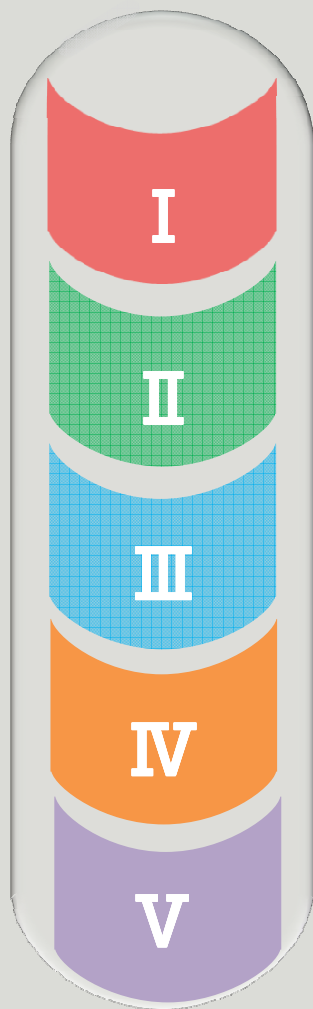


韓国の化学物質管理政策および 産業行動計画の変更



韓国化学物質管理協会
副会長 Jee-Yoon, LEE

目次



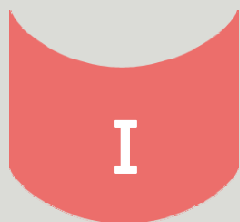
韓国化学物質管理協会 (KCMA) の紹介

韓国市場における化学物質の流通

韓国における最近の化学物質関連問題

化学物質管理法の制定および修正

国内産業行動計画



韓国化学物質管理協会 (KCMA) の紹介

1. KCMAの歴史および目的

- ✓ KCMAは、1991年3月に「有害化学物質管理法 (TCCA)」に基づき設置された。
- ✓ さまざまな化学物質事業からの1200以上の会員企業で構成されている。
- ✓ 公共の衛生および環境を守り、世界経済における化学産業を強化する。

2. KCMAの主な役割



◆ 「有害化学物質管理法」に記載されている政府委託のプロジェクト

◆ 化学物質管理政策、技術開発に関する研究プロジェクト

◆ 化学物質安全管理のための情報の普及、教育訓練、技術支援

◆ 化学物質の国際規制を遵守するための産業支援

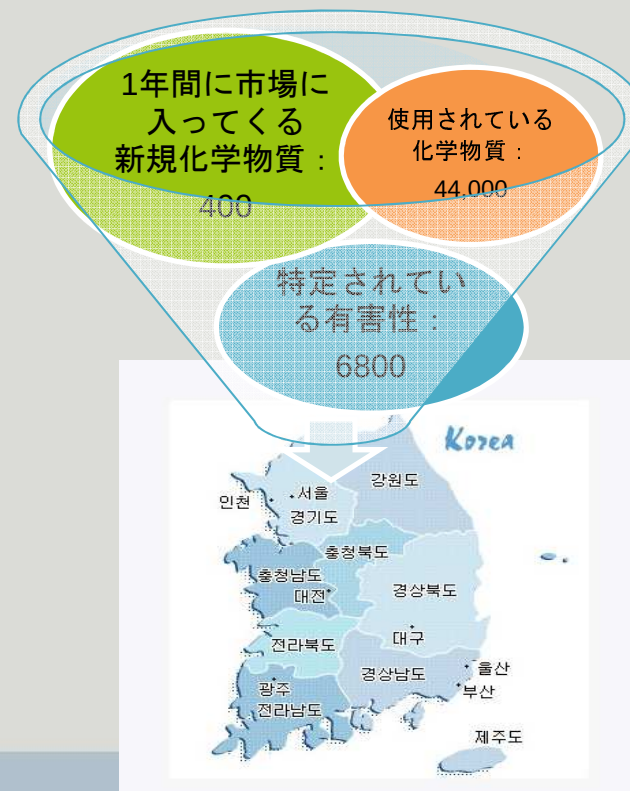
◆ 「化学物質の登録および評価等に関する法律」に基づく化学物質登録のための技術支援

Ⅱ

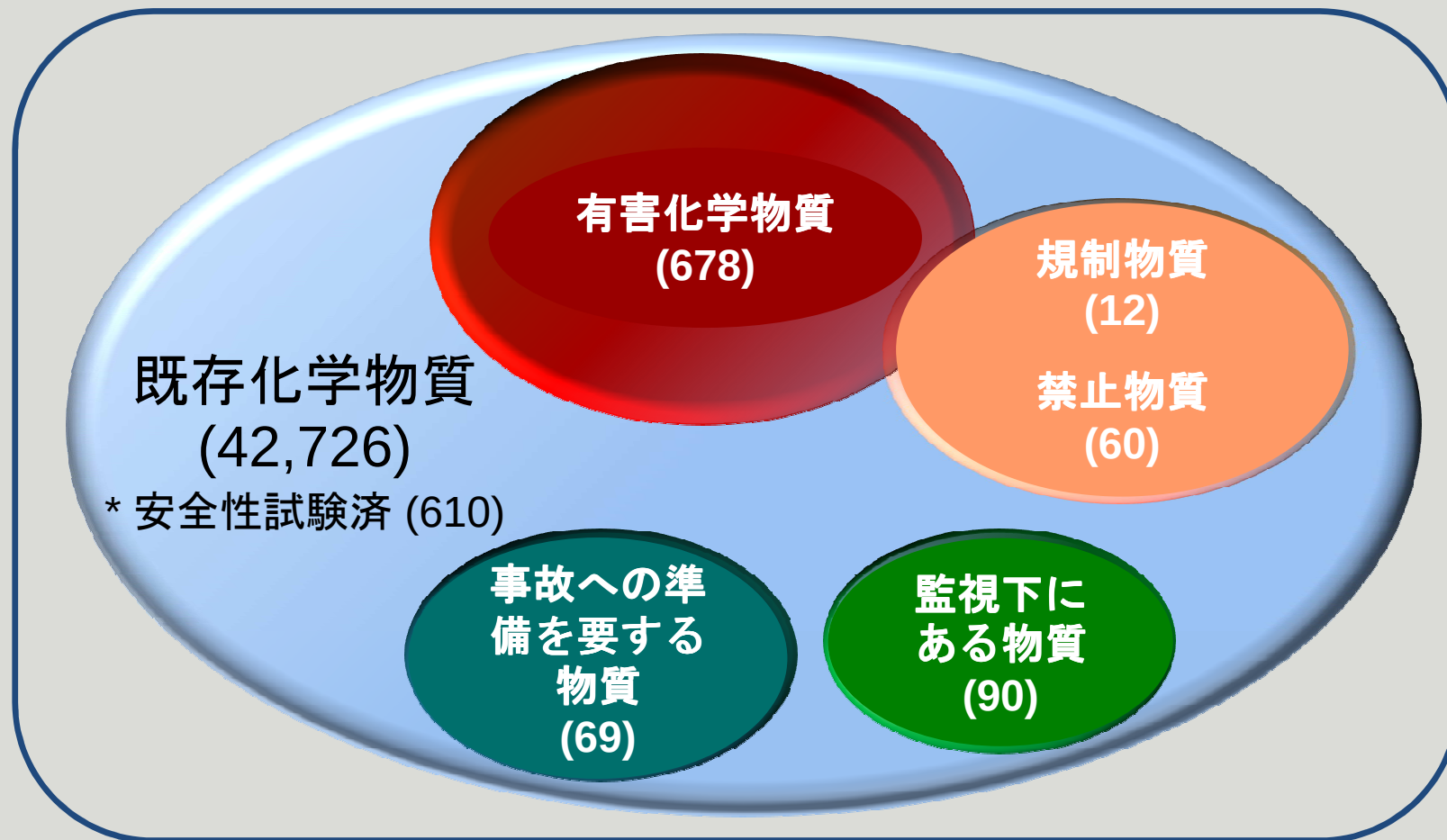
韓国市場における化学物質の流通

1. 化学物質の流通

- 44,000種類の化学物質が韓国市場で流通している。
- 300種類の新規化学物質が毎年国内市場に入ってきている。
 - 有害性が部分的にでも特定されているのは、およそ6,800種類の化学物質(15%)のみである。

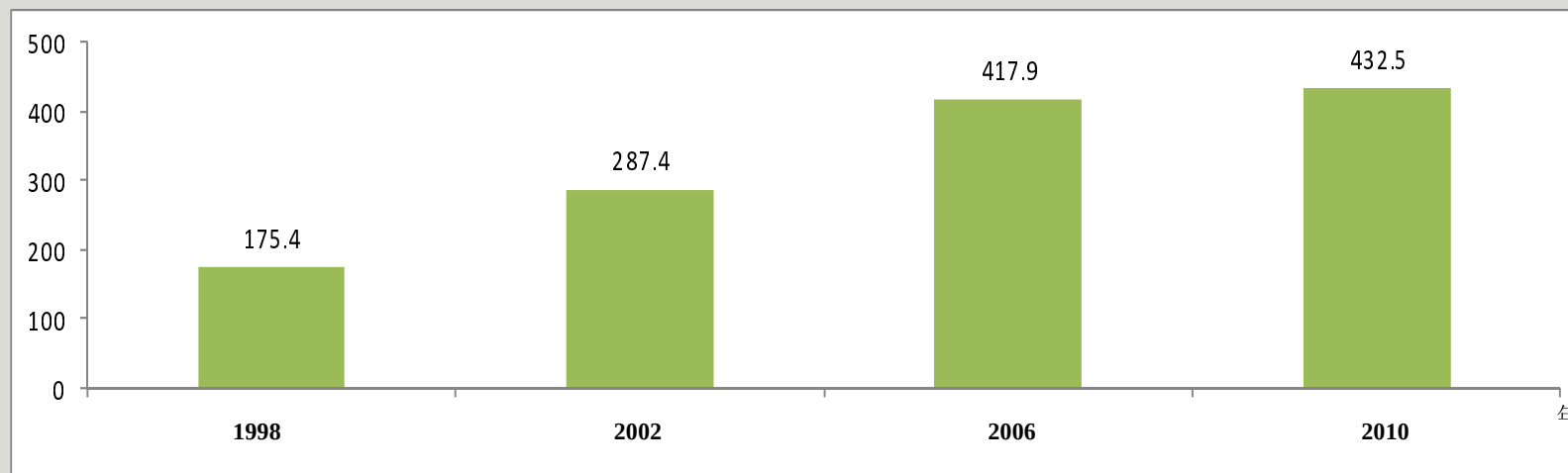


2. 規制物質 (2013年10月現在)



3. 化学物質流通量

(百万トン)



<年間化学物質流通量>

➤ 韓国の化学物質の売上は第5位 (出典 : CEFIC 2011)

* 2011年売上上位5カ国 (10億ユーロ) :

中国 734.8、アメリカ 408.7、日本 175.3、ドイツ 156.4、韓国 118.3

4. PRTR (化学物質排出移動量届出制度)

➤ PRTRおよび情報開示

- 企業の自発的な削減およびOECD理事会勧告を実施するための企業の情報開示を促す
- 2008年以降、試験的情報開示を実施、2010年に全面開示 (4,010社)
- 企業と居住者間の効果的なネットワークのために、**リスクコミュニケーション**が確立された



＜情報開示企業の化学物質排出量削減動向＞

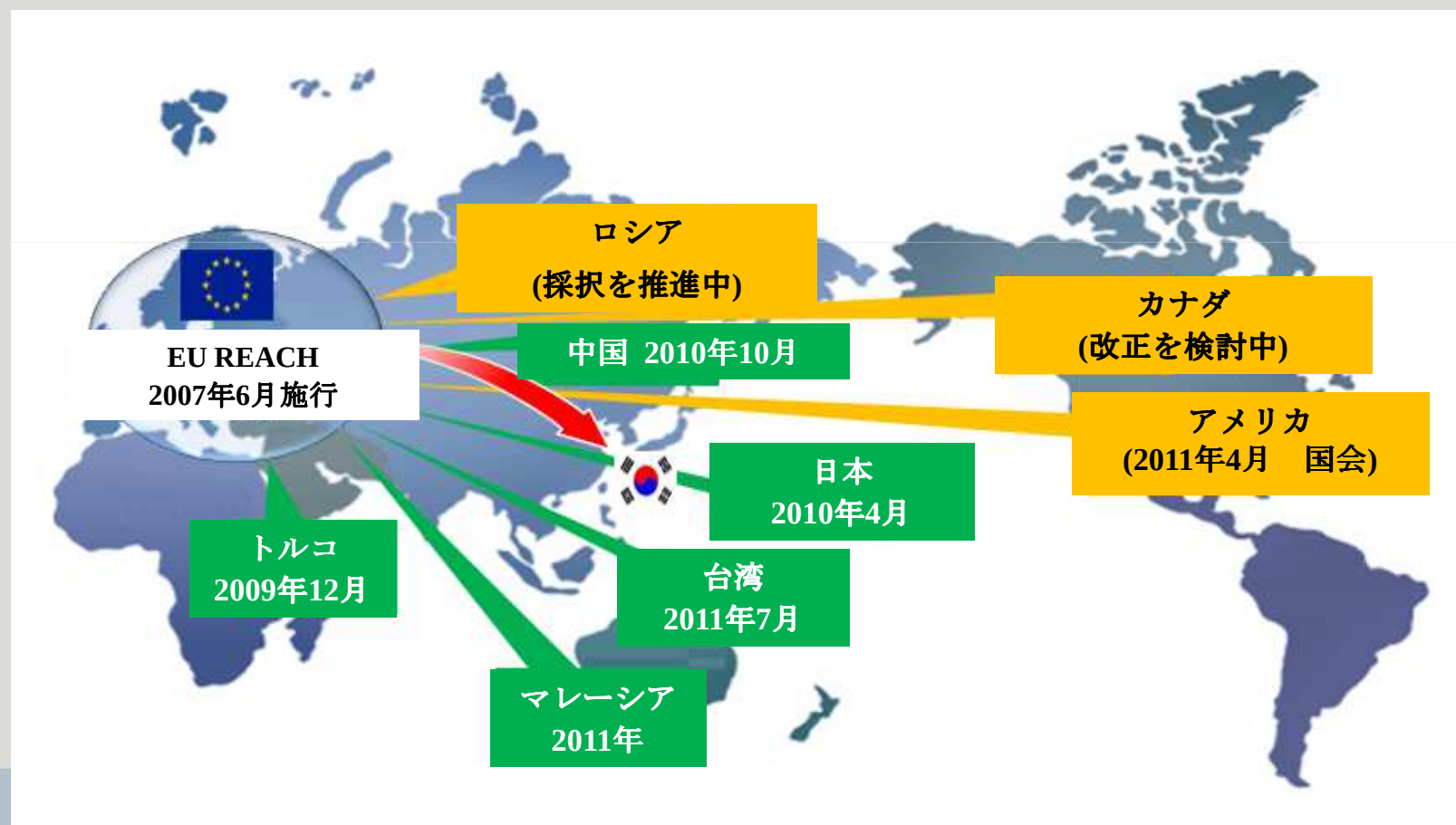
Ⅲ

韓国における最近の化学物質関連 問題

1. 国際的な化学物質管理の強化

- EU REACH (欧州化学物質規制) の制定後、日本、中国および他の重要な貿易国は、化学物質管理政策を強化した。
- UNEP SAICM (国連環境計画 国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ) に従い、化学物質の危険性を減少させるための実行計画を2020年までに確立

* 2011年韓国政府環境部 (MoE) による国家的実行計画の提案



2. 加湿器殺菌剤事故

➤ 背景

- 加湿器の殺菌剤に使用されている化学物質に、吸入を通じ利用者がさらされた。蒸気を吸い込むことで、呼吸器系への損傷を起こし死に至った。

* およそ120名の妊婦および幼児が肺障害により死亡したと推定される。

➤ 結果

- 使用されているすべての化学物質を確認することの重要性への認識を高めた
- 使用目的に従った製品の暴露評価および規制の重要性を強調した
- 国民による、組成、内容物および危険を考慮した家庭用品規制の要求

* 世論調査 (2012年2月1日、回答者1,000名) によると、化学物質登録、評価システムの導入に93.5%が賛成した。



3. 化学物質事故から生じている社会的不安

➤ 背景

- 2012年9月27日、工場で作業員たちが濃度99%のフッ化水素酸を別のタンクに移そうとしていたときに誤ってバルブを開いてしまった。
- 作業員たちは現場で死亡したため、事故の正確な原因の特定は困難であったが、8トンものフッ化水素酸が放出された。
- 死亡者5名および負傷者23名に対する政府からの554億ウオンの財政援助、居住者のための医療手当て、農地および家畜動物への損害に対する補償

➤ 結果

- 居住者の化学物質および化学産業に対する増大する不信感
- 化学物質事故防止、準備、必要とされる対応のための包括的な制度の確立

